

## 野生動物班

石田 旭弘 岡田 裕靖 熊崎 祐太 三島卓也



### 1. テーマ

#### Project Wild Animals in Gujo ～さらなる飛躍へ PART1～

岐阜県郡上市に棲息する動物種を知ること、郡上市の野生動物の現状を理解する。

### 2. テーマ設定理由

農作物の食害被害、樹皮剥ぎ被害など、野生動物の被害問題は、20年ほど前から日本中の農山村で深刻になり、社会問題となっている。その野生動物の活用方法としてジビエ料理を考え、開発し普及するとともに、昨年度の研究の中でセンサーカメラによる調査を継続した。

### 3. 活動日程

24年 1～2月	計画、フィールド調査
3～5月	センサーカメラ設置、カメラセンサス 事前学習（動物について）
6月	年次大会出場
9～11月	↓ ジビエ料理
12月	実習生産物販売会でジビエ料理の試食 卒論作成



センサーカメラ設置様子



センサーカメラ

### 4. おもな活動内容

#### (1) カメラセンサス

学校敷地内の山、城山において、学校周囲にどのような動物が棲息しているか知るため、2台のセンサーカメラを設置し、平成23年度から延べ755日、5375枚撮影した。

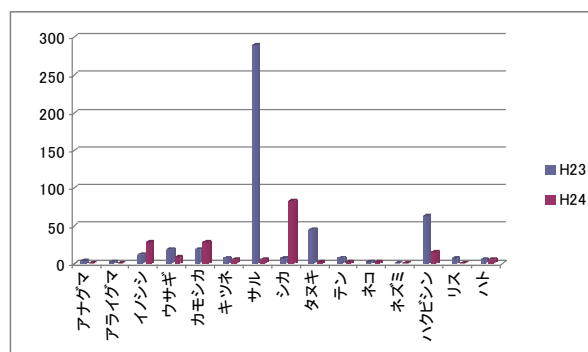
#### 結果

計601/5375枚動物を撮影することができた。

(本年度181/768枚)

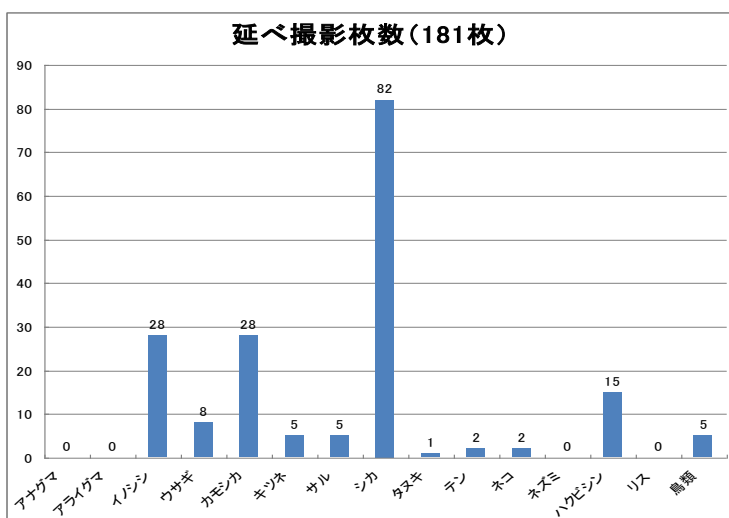
#### <撮影動物種>

イノシシ、ウサギ、カモシカ、キツネ、サル、シカ、タヌキ、テン、ネコ、ハクビシン



### 結果②種類別撮影枚数

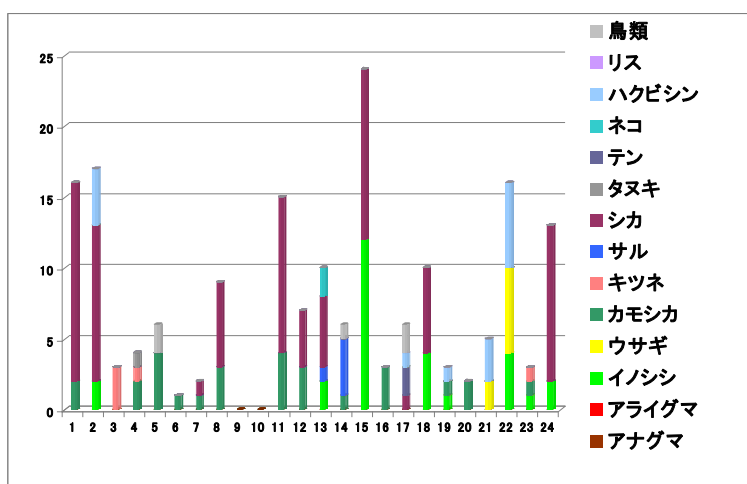
昨年度と比較し、ニホンジカの撮影枚数が増加したが、群れで行動しているため撮影枚数が増加したことが考えられるが、個体数が増減については今後引き続き調査する必要がある。また、ニホンザルの撮影枚数が減少している理由として、夏場の撮影枚数が減少したことが理由であり、城山から別の場所への個体群の移動が考えられる。



### 結果③撮影時間別撮影枚数

昨年度と比較し、時間別による偏りは少なくなったが、先輩方の考察通り、夜から深夜にかけて行動する種類が多く、日中も活動している動物も多く存在することが考えられた。

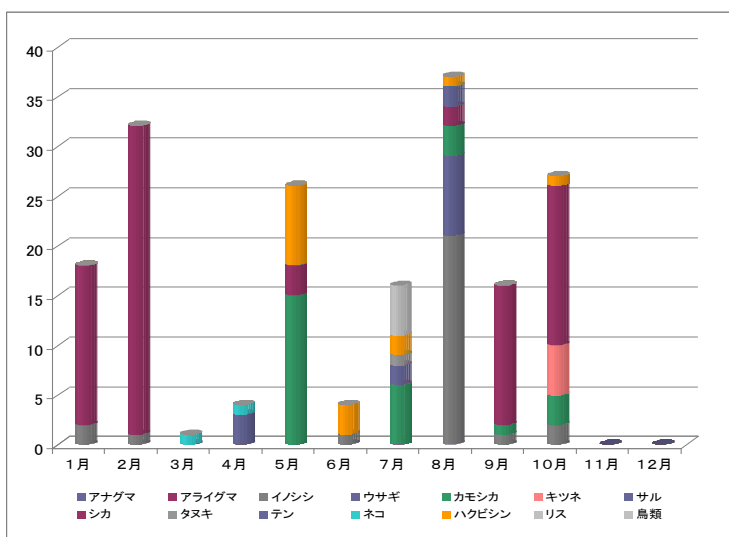
種別において、ニホンジカやニホンカモシカなどは深夜だけではなく、日中も活動していることが分かった。



### 結果④月別撮影枚数

4月から10月にかけて多く撮影されているが、理由として4月からは生物が活発に活動をする時期であるため、多くの種類の動物が撮影されていると考えられる。

また、7月から10月にかけて多くの種類が撮影されており、この結果は昨年度の結果とほぼ同様な種類数となっているため、郡上市八幡町における棲息数は変化ないと考えられた。




## (2) ジビエ料理の開発

郡上の農作物に甚大な被害を及ぼす野生動物を駆除した後、肉をなにかうまく活用できないかを考えた。そこで思いついたのがジビエ料理である。ジビエとは野生動物のことで、料理の材料としては入手困難なため、人の手によって飼育され、ある程度まで育てられ、自然にかえされたものもジビエと呼ぶ。

あまりポピュラーではないこのジビエ料理を普及させることで、これから駆除された野生動物が郡上の大切な資源になることを目標にする。

<開発した料理>

シシ鍋 (味噌、しょうゆ)



シシ肉のトマトソース煮



シシ肉のしょうが焼き

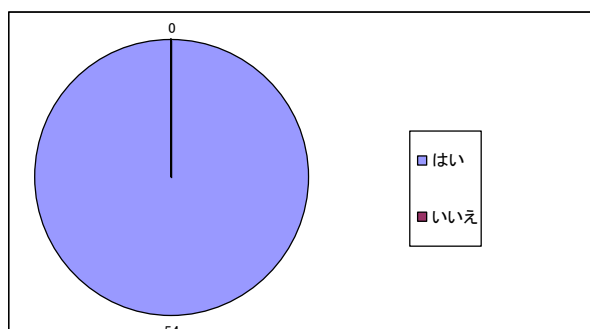


作ったジビエ料理の中から、最も臭みが無く食べやすいシシ肉のしょうが焼きを今年の実習生産物販売会で作り試食を提供した。

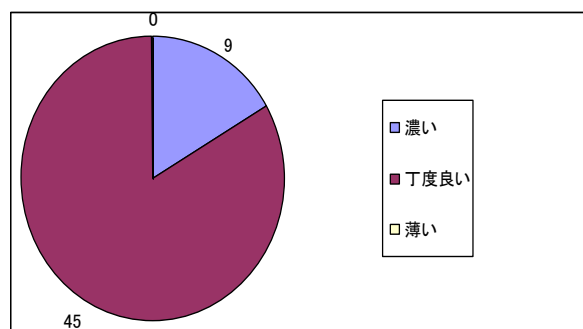


### <アンケート結果>

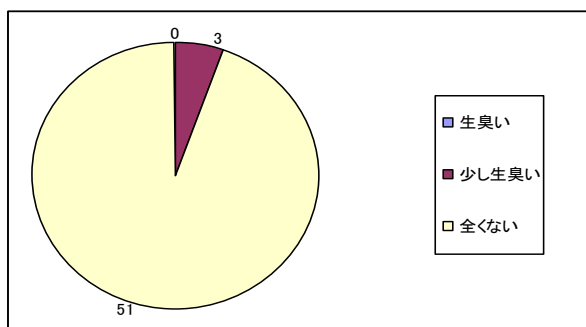
(1) おいしかったですか？



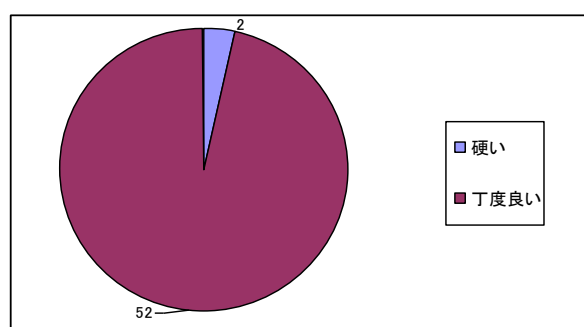
(2) 味の濃さはどうですか？



### (3) シシ肉独特の臭みはありましたか？



### (4) シシ肉の硬さはどうですか？



### (5) アンケートでの要望など

- ・生姜の味がよく効いていた。
- ・以前食べたときは生臭かったがこれはうまかった
- ・しし肉は初めてだったけど楽しかった
- ・味付けがおいしかった
- ・シシ肉と言われなければ分からないほど柔らかい
- ・シシ肉お料理をもっと広めるといい
- ・ご飯にあいそう
- ・対応が明るく、楽しかった。
- ・シシ肉とは思えなかった
- ・ビールがほしい

### 考察

私たちはジビエ料理を開発し、実習生産物販売会で、試食提供することによって、地域の方々とのパイプができ、今後の活動の幅を広めることができました。将来の動物班が活動しやすいようにすることで、本年度の研究以上の結果を追求できるようにしていきたいと考える。

昨今、ジビエ料理が郡上市でも注目されつつある。地域の特産物としてまずは郡上市内の住民の方に認知してもらう活動を今後とも行い、野生動物との関わりについて新たな産業を起こせるよう高校生である私たちができることを考える必要がある。

### 今後の課題

現段階では、城山の野生動物種の調査ができたため、今後はそのデータをどう生かすか考えるとともに、調査範囲を広げ、郡上市全体を調査することで、新たな郡上市の特徴を発見する研究として行って欲しい。

また今年初めて挑戦したジビエ料理に関しては、実習生産物販売会に出展することができた。データが少なく難しい作業だが、地域の方々や観光客に愛されるようなジビエ料理の開発、研究を行ってほしい。